

2026年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
建築計画 4											
対象	4年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	杉浦 文美			実務 経験	有	職種	建築施工				
授業概要											
計画原論、都市計画、建築史の分野について、さらに深く専門的に学びます。											
到達目標											
一級建築士学科試験（計画分野）に対応した知識を体系的に身に付け、各用途建築の計画原理を理解し、自ら設計条件を整理・検討できる力を養う。											
授業方法											
講義と板書を中心に、図表・写真・動画を用いた解説、小テストや過去問題演習、簡単なグループワークを交え、理解度を確認しながら段階的に進める。											
成績評価方法											
定期試験60%、小テスト20%、課題・授業内演習10%、授業態度・出席10%を目安に総合評価する。欠席・遅刻が多い場合は評価対象外とすることがある。											
履修上の注意											
一級建築士受験を視野に主体的に学ぶこと。欠席・遅刻を避け、指定範囲の予習復習と過去問演習を必ず行う。建築計画1～3の内容を事前に復習しておくこと。											
教科書教材											
一級建築士試験 学科 I（計画）対策テキスト（市販）、計画分野過去問題集、授業配布プリント・スライド資料等を使用する。具体的な書名は初回授業で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	科目の目的・進め方説明。一級建築士計画分野の出題傾向、学習スケジュール、過去問の読み方を確認する。										
第2回	建築の役割、機能分解、平面・断面構成、スケール感、利用者像の整理など計画の基本概念を学ぶ。										
第3回	人と物の動線、ゾーニングの考え方、プラン型式の整理、避難計画の基礎を事例と過去問で確認する。										

## 建築学科

## 建築計画 4

第4回	戸建住宅・集合住宅の計画条件、住戸構成、住棟配置、日照・プライバシー・共用空間などを学ぶ。
第5回	オフィスの平面型式、ワークプレイス計画、庁舎のゾーニング、来庁者動線・バックヤード動線などを整理する。
第6回	店舗・ショッピングセンター・複合商業施設の計画原理、売場構成、導線計画、駐車場計画などを学ぶ。
第7回	学校施設、図書館、博物館・美術館の空間構成、諸室相互関係、学習・展示動線の考え方を整理する。
第8回	病院・診療所・高齢者施設等の諸室構成、医療動線・患者動線、衛生・安全への配慮事項を学ぶ。
第9回	ホテル、ホール、劇場、スポーツ施設等の客席計画、収容人員、避難計画、バックヤード計画を過去問と共に扱う。
第10回	工場・倉庫・物流センターの生産動線、レイアウト計画、安全・環境への配慮事項と代表的出題を学ぶ。
第11回	教室数、病床数、客席数などの規模・収容計画の算定方法を整理し、過去問の計算問題を演習する。
第12回	室内環境（温熱・光・音）、日照・通風・騒音対策、設備計画と建築計画の関係を計画分野の出題に即して学ぶ。
第13回	用途地域、建ぺい率・容積率、斜線制限など、計画分野と関わりの深い法規を整理し、事例問題に取り組む。
第14回	分野別に過去問題を大量に解き、解説を通して知識を整理・暗記する。試験での時間配分や解答順序も確認する。
第15回	計画分野の模擬試験を実施し、解説と振り返りを行う。今後の自学自習のポイントと試験直前期の勉強法をまとめる。